

会 議 録

会議の名称	桶川市立桶川西中学校 第2回学校運営協議会	
開催日時	令和2年7月29日(水) (開会) 15:30 (閉会) 17:00	
開催場所	桶川西中学校 図書室	
出席者氏名(委員)	相澤仁志 中嶋浩司 樋口文恵 菊池 弘 原島巨樹 田口 武 百瀬 勉 清水雅一 藤井幸生	
欠席者氏名(委員)	熊谷 薫 関根勝男	
傍聴者	0 名	
議題	(1) 桶川西中学校学校運営協議会(案)について (2) 今年度の学校運営協議会の活動について	
協 議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	<p>(1) 桶川西中学校学校運営協議会(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は環境整備部と地域行事部の2つを立ち上げる。各部の部長はその活動が軌道にのるまでは委員の中から選出する。また、部長の人数についても区長を窓口にして1人とするが、地域をまたぐことを考慮し必要に応じて複数にしていくことも考えていく。来年度以降は他の3つの部も立ち上げていくが、来年度の状況を踏まえて4または6つの部を編制していくことも考えられる。 ・学校としては地域交流が最大のテーマである。西中に通学する川田谷地区と日出谷地区の両方の生徒がお祭りなどへの対応に協力したり、そこから不審者や避難訓練などへの対応へとつなげていきたい。避難所対応などは中学3年生ならば力になれるし、そこから地域からの協力を得られるようすれば、学習支援や部活動の指導にも協力が広がると考える。またサポーターズの活動もPTAだけでなく、地域の方を巻き込めればより大きな力になると考える。そのためにも地域へ発信していく方法も考えて行かなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織について、 <ol style="list-style-type: none"> ①各部の部長は委員の中から選出するのか。 ②来年度の部の5つが4つや6つになることはあるのか。 ③部長が1人ずつでは難しいのでは。 ・各地区における人材の把握や地域のお祭りの人員確保、学校の学習支援への対応など、具体的な問題点や課題がはっきりしないと、話が進まないのではないか。

	<p>(2) 今年度の学校運営協議会の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信方法についてはチラシを作ったり、学校ホームページにあげることができる。 ・他校でも除草作業などで100～400人集まる場合もある。作業によっては人数が多い方がいいこともあるのでありがたい。環境整備についてはサポーターズと相談して活動内容を決めていきたい。 ・環境整備部と地域行事部で活動する具体的な内容を今後検討して、地域交流を第一のテーマとして活動を具体化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が漠然としているため、地域に戻ってもその活動を伝えるのが難しいのではないかな。 ・地域を含めて募集して大勢の人数が集まったとき対処できるのかな。 ・地域の方は高齢の方が多く、学校と地域の関わり方は昔ほどなくなってきている。どうすれば戻れるかな。 ・まずは西中から地域への活動をやってみようということによいか。西中生を地域に派遣することはいいが、まずは住んでいる地域を中心にすべきではないかな。 ・議論している内容が広がりすぎて、それぞれの部で具体的に何をしていけばよいか見えるものがない。具体的な活動内容を議論しなければならない。
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度学校運営協議会名簿 (2) 桶川市学校運営協議会規則 (3) 学校運営協議会運営の手引き (4) 今年度の学校運営協議会に係る経緯 (5) 令和2年度学校教育目標・学校経営方針 (6) 令和2年度桶川市立桶川西中学校・学校経営12柱と8重点 (7) 西中生のための3指針・5心構え・3行動 	